

ふれあいを大切に あなたと育む JAえひめ南 広報誌

みなみかぜ

2020

10

No.283

JA EHIME MINAMI
MINAMIKAZE



特集

JAえひめ南とSDGs

JAえひめ南とSDGs

みなさんは「SDGs（エスディージーズ）」という言葉を知っていますか？「SDGs」とは、持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」の略で、2015年に国連加盟の目標で決められた共通の目標です。2030年までに地球環境や経済活動、人々の暮らしなど持続可能な社会を創り、よ

りよい未来を迎えるために取り組む17の項目があります。これは、JAの理念や取り組みと重なるものが多くあり、JAえひめ南は令和2年度基本方針の重点事項にも「SDGsの達成へ向けた活動」を掲げています。今回は、JAえひめ南が取り組んでいる活動をご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



協同・組織運営事業分野

多様な仲間と協同の力を発揮します



- JA鳥取中央、姉妹JA（いわて中央・新みやぎ）と交流
- JA高知県と「連携・災害協定」を締結
- 女性理事の登用促進



- 日中農林水産交流で中国浙江省象山県の研修生を受け入れ、かんきつ栽培を中国に発信



- 宇和島市や一般社団法人RCF、フィリップモリスジャパンと連携し、西日本豪雨からの復興を目指す

食料・農業事業分野

農業者所得増大・農業生産の拡大を目指します



- 野菜担当者会議の実施
- ブラッドオレンジ&宇和ゴールドフェアなど農産物PRイベント開催
- かんきつ農業研修生の受け入れ
- かんきつオンラインショップの開設
- ジュース、ワインなどの加工品販売
- 農産物付き定期貯金「みなみのギフト」を展開
- JAえひめ南みかんボランティアセンターの運営



- 果樹専門指導員を10名配置
- 各部会の講習会実施
- TAC巡回による営農指導、意見・要望収集



- 小学生対象の食農体験教室「あぐりスクール」の開催（※令和2年度は中止）
- 幼稚園・小学校への出前授業などの食育活動

地域・暮らし事業分野

地域貢献活動に積極的に取り組みます



- 助け合い組織「みつば会」の福祉活動
- 信用窓口の振り込め詐欺防止活動
- JA共済主催・少年野球教室開催
- 地域イベントへの参加
- ガソリンスタンドや介護センター、葬祭センターなどの生活事業



- 女性部の活動（農産物や手作りの加工品を販売：伊予吉田町支所）



- 職員による朝の地域清掃や伊達家墓所の清掃ボランティア



- 買い物弱者を支援する移動購買車の運行

「JAの自己改革に関する組合員アンケート」 調査結果のご報告

JAえひめ南では、持続可能な農業や豊かでくらしやすい地域社会を実現するため「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げて、自己改革に取り組んでいます。

これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、「JAの自己改革に関する組合員アンケート」を実施しました。

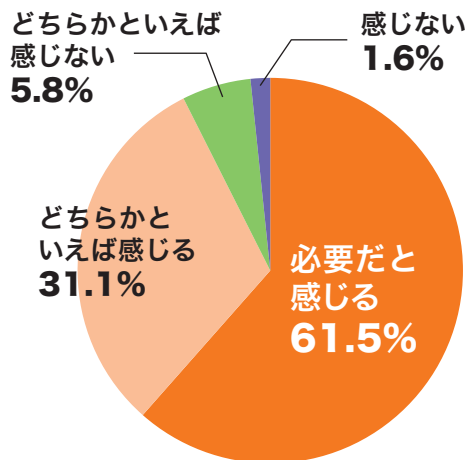
このたび、皆さまからいただいた調査結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

●調査期間：平成30年12月～令和元年12月

●回答者数

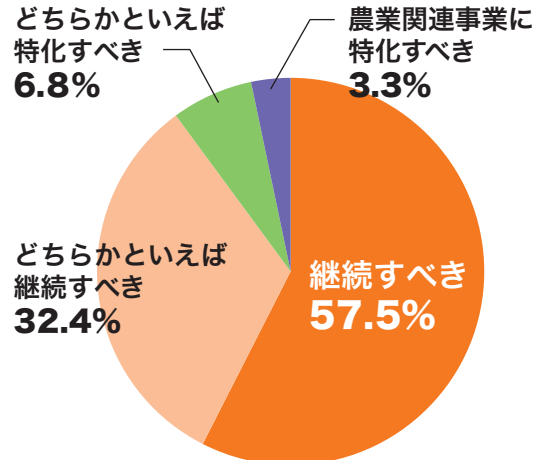
正組合員	准組合員	合 計
7,248人	5,038人	12,286人

① JAの必要性



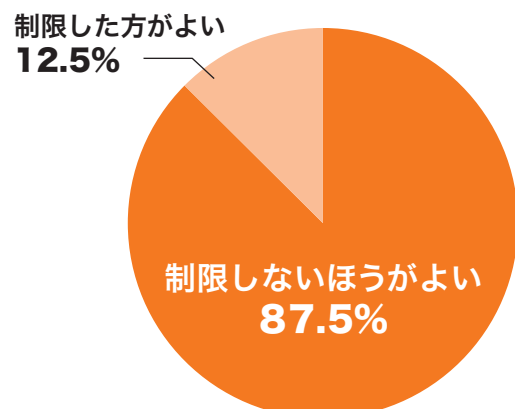
正・准組合員の92.6%が、「JAは必要な存在だと感じる」と回答しています。【肯定的回答割合】

② 総合事業の継続



正・准組合員の89.9%が、「総合事業を継続すべき」と回答しています。【肯定的回答割合】

③ 准組合員の事業利用の制限



「准組合員の事業利用制限」については、准組合員のくらしの利便性や正組合員の農業やくらしに大きな影響が出ることが懸念されます。

正・准組合員の87.5%が「事業の利用は制限しない方がよい」と回答しています。



④自己改革への評価（農業関連事業について）

	期待度	満足度	改善度
	「期待している」	「満足」	「改善した」「もともと良い」
営農指導事業	94.7%	87.5%	79.5%
農畜産物販売事業	94.2%	85.8%	81.2%
生産資材購買事業	93.2%	84.2%	77.6%

期待度は「期待」「やや期待」「どちらかと言えば期待」、満足度は「満足」「やや満足」「どちらかと言えば満足」、改善度は「もともと良い」「改善した」「改善しつつある」を集計しています。



～最後に～

このたびは、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

全体的に肯定的な意見が多く、組合員の皆さまのJAへの期待を強く感じております。一方、農業関連事業に関して、正組合員の高い期待に対して満足度がやや低い結果となった点は、今後の検討課題と認識しております。

今後も、組合員の皆さまの声に耳を傾けて、JAに対する評価・ご意見等を踏まえた事業運営に努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。

引き続き、 JAえひめ南は 自己改革に 取り組みます。

※主な取り組み内容をご紹介します。



かんきつの新規就農研修制度を創設し、担い手の確保に取り組んでいます。南宇和営農センターで3名の研修生を受け入れ、就農に向けて研修を実施しています。



農業生産の拡大を目的に、「3品目販売増強助成制度」を創設し、「キュウリ」「サトイモ」「ブロッコリー」の作付け面積の拡大及び販売金額の増加に取り組んでいます。



地域貢献のため、地域イベントや清掃活動等に積極的に参加しています。



管内の園児や小・中学生を対象に、食農体験学習等の実施に取り組んでいます。



買い物弱者対策として、生鮮食品や日用品を積んだ移動購買車を運行中です。



7/22

ドローンで改植地を測量

JAえひめ南は7月14日から下旬にかけて、ドローン（小型無人飛行機）を使って改植農地を測量しました。老木化による収量減などを理由に改植を検討している管内の園地200カ所を対象に実施しました。

急峻で広大な農地の面積や状況を短時間で効率的に把握するため、同JAは昨年8月にドローンを使った測量を開始。農地測量・地理情報サービスを提供しているNECソリューションイノベータに業務委託しています。

22日は、宇和島市吉田町奥南地区の27カ所で測量。使用したドローンはDJI社製の「Mavic2pro」。連続飛行時間は約20分で、一度に約3秒を撮影できます。約150メートル上空から改植地を撮影し、撮影時間は1カ所2分ほどでした。今後、撮影データを基に、生産者と植栽本数を決定します。



7/30

キュウリ出荷最盛期

宇和島市三間町で7月下旬、キュウリの出荷が最盛期を迎えました。三間宮農センターによると、4月下旬の寒さにより生育が遅れ、7月からの長雨で葉に病害虫被害が見られたといえます。農家は栽培管理に努め、秀品率向上を目指します。出荷は12月下旬頃まで続き、今年度は昨年並みの約120トの出荷を見込んでいます。

JAえひめ南は流通コスト削減や農家所得増大を目的に、昨年6月からJA東宇和と選果場の広域利用に取り組んでいます。生産者が選果したキュウリを同町の冷蔵所に持ち込み、職員がJA東宇和の選果場に直送し、関西方面の市場に出荷しています。



7/31

かんきつ選果場意見交換会

JAえひめ南は7月31日、柑橘選果場意見交換会をJA本所で開きました。管内の7選果場の現状と課題について把握することを目的に初開催し、選果場関係者、JA役職員30人が出席しました。

みかん指導販売部の伊藤健二部長が、選果場別の生産状況などについて説明。管内の令和2年産かんきつ生産予想量は、温州類が2万2千385ト、中晩柑類が1万5千628トとしました。各選果場の課題については、共選長らから「設備の老朽化」や「作業人員の不足」が挙げられました。





8/2

大粒ブドウ収穫始まる

宇和島市来村地区で8月2日、大粒ブドウの収穫が始まりました。生産者が摘粒作業を徹底したことにより着色が良く、甘味の強い果実に仕上がっています。

来村ブドウ部会では、7人が32アールで栽培。「レオーネ」「巨峰」「藤稔」「シャインマスカット」などの大粒ブドウを、8月下旬頃まで出荷します。今年度は昨年並みの約1トの出荷を見込み、同市宮下のマル協青果市場で販売します。

同部会に所属する農家・土居真也さん(27)は、「環状剥皮をしたことにより養分を房に集め、着色を促進することができた。栽培を始めてから今までで一番高品質に育った」と話しています。



8/3

早期米稲刈り始まる

愛南町で8月3日から早期米の収穫が始まりました。例年通りの開始で、8月15日〜25日にかけて最盛期を迎えました。

JAえひめ南管内の水稻の作付面積は約1956畝で、大半が「コシヒカリ」「あきたこまち」の早期米です。主食用米の出荷数量は、昨年より2千袋減の約6万5千袋(1袋30キ)を見込んでいます。

同町御荘の農家、宮平長一郎さん(71)は8月4日、コンバインで3月下旬に作付けした「コシヒカリ」を刈り取りました。宮平さんは「長雨の影響で収量が少ないが、病害虫被害が少なく順調に生育した」と話しています。



8/5

三島支所 組合員慰霊祭

三島支所は8月5日、同支所で組合員物故者慰霊祭を開きました。令和元年度に亡くなった組合員24人の冥福を祈るとともに、農業振興に尽力した故人に冥福をささげました。物故者遺族代表や役員6人が参列し、善光寺の本土住職が読経する中、焼香しました。

同支所によると、慰霊祭は約100年前から毎年8月上旬に開いているといいます。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して行ないました。

遺族代表の滝谷繁勝さん(63)は、「今後も故人の思いを受け継ぎ、地域一体となって農業振興に尽力したい」と話しました。





8/6

立間果樹青年同志会 土のう作り

立間果樹青年同志会は8月6日、7月上旬の大雨で崩れたかんきつ園地の復旧に役立てる土のうを宇和島市吉田町で作りました。若手かんきつ農家40人が協力して作った約4千袋を町内の2カ所に配置し、地域の農家に無料提供しました。

同町では2年前の西日本豪雨で被災した園地が7月上旬の大雨により再度崩れ、多くの農家が土のうを必要としています。若手生産者の力で土のう不足を解消しようと呼び組みました。

会長を務める宮川淳さん(39)は「秋に良いミカンを収穫できるように、崩れた園地の補強に活用してほしい」と話しました。



8/12

米検査始まる

津島宮農センターは8月12日、宇和島市津島町で早期米の初検査を行いました。検査員2人が形や整粒、被害粒の割合などを肉眼で鑑定した後、米麦水分計で水分状態を計り、等級を決定しました。

例年通りの開始で、約1300袋(1袋30キ)を集荷しました。9割が「コシヒカリ」。同センターによると、今年は梅雨明け以降の好天の影響で、昨年に比べて品質良好だといえます。早期米の検査は管内の10カ所で9月上旬まで続き、その後は普通米の「にこまる」「ヒノヒカリ」に移り10月下旬まで続きます。集荷目標は、昨年の出荷実績より約8千袋増の約6万5千袋を見込んでいます。



8/12

ビワ剪定の「ツツぎぶ



宇和島宮農センターは8月12日、宇和島市三浦地区の圃場で岡山県の菓子メーカー・源吉兆庵に出荷するビワ「田中」の剪定講習会を開きました。生産者3人が参加し、収量増加や作業効率向上に向けた剪定のコツを学びました。

南予地方局産業経済部産業振興課地域農業育成室の職員が講師を務め、剪定や誘引方法を実演しながら指導。ポイントとして「日当たりの確保や作業効率を高めるため、樹冠内の込み合った部分の枝を切り落として整えること」と説明しました。JAは「剪定作業は9月上旬までに行い、剪定後はがんしゅ病の発生に注意してほしい」と呼び掛けました。





8/21

オクラ収穫最盛期

8月中旬から下旬にかけて、愛南町でオクラの出荷が最盛期を迎えました。今年度の出荷量は昨年度の10倍の1000ケース（1ケース約5・5キ）を見込んでいます。南宇和営農センターによると、栽培面積の拡大と梅雨明け以降の好天で生育が順調だったことにより出荷量が大幅に増加。生産者が防除を徹底したことで高品質に仕上がっています。

同町の農家、山本陽佑さん（39）は、今年の4月から10㍓の圃場でオクラを栽培。6月下旬から収穫作業に励み、多い日で約60キを出荷しています。山本さんは「農家仲間にアドバイスをもらいながら栽培管理し、形や着色の良いオクラに育った」と話しています。



J A女性組織活動 体験発表 県代表に

愛媛県農協青壮年連盟・JAえひめ女性組織協議会主催の「JA女性組織活動体験発表」県予選が7月21日に行われ、JAえひめ南女性部の清家久栄部長が最優秀賞を受賞しました。清家部長は西日本豪雨災害を契機としたJA・JA組織の重要性や協同・助け合いの精神の大切さについて発表しました。同体験発表の中国四国地区原稿審査に愛媛県代表として応募します。



女性部 清家久栄 部長(左)



信用業務検定試験 優秀者を表彰

6月17日、JA本所で信用業務検定試験の成績優秀者表彰が行われました。

信用事業業務検定試験

最優秀賞

（352人中1位・合格率34・94％）

信用部企画課 課長 中井晃さん

信用事業管理者検定試験

優秀賞

宇和海第一支所 次長 水野洋史さん



宇和海第一支所
水野洋史 次長



信用部企画課
中井晃 課長



春ブロッコリーを栽培してみませんか？

ＪＡえひめ南では、「農業者の所得増大と農業生産の拡大」として、ブロッコリー「年間販売高 1 億円」を目標に掲げて取り組んでいます。令和元年度も南宇和を中心に栽培面積が増加し、令和元年度販売実績で 8 千 8 百万円（平成 31 年度 7 千万円）となりました。

今後も生産者と一体になって、魅力あるブロッコリー産地を築いていきたいと思います。

作型	12月	1月	2月	3月	4月	5月
春ブロッコリー	定植 ▲			▲	収穫	

【10a当たりの収益性の目安】

目標収量 (kg)	単価 (円/kg)	税込販売額 (円)	生産費 (円)	出荷経費 (円)	所得 (円)
700	400	302,000	90,000	91,000	121,000

生産費

種苗費、肥料農薬代、動力光熱費等

出荷経費

手数料、選果費、運賃、出荷資材費

【ブロッコリー栽培の魅力】



とても美味しく、栄養価に優れる緑黄色野菜であり、幅広い年代に人気のある野菜です。



5 a 程度の小面積からでも栽培出来ます。



育苗と選別・箱詰めはＪＡが行い、栽培と収穫に専念できます。全量氷詰めで出荷されるＪＡえひめ南のブロッコリーは市場評価が高く、高単価が期待できます。



ブロッコリー苗代(税抜き)の半額助成を実施しています。初心者の方にも取り組みやすい野菜となっています。

(※新規・増反者のみ助成)



春ブロッコリー栽培のお問い合わせ・申込みは、本所営農振興部 農産指導販売課 (22-8151) 又は、最寄りの営農センターまでご連絡ください。

各営農センター連絡先

宇和島 22-8175 三 間 58-3322 津 島 32-5951
吉 田 52-2939 鬼 北 45-1313 南宇和 72-1160

柑橘講座

みかん指導課

果樹専門指導員 立間担当

う え だ

た け し

上 田

剛 士

指導員



柑橘重点作業 10月

10月は極早生の収穫も終盤となり、今後は早生の収穫及び出荷が始まります。下段に記載している作業内容及び病害虫に注意し、今後の農作業に努めて下さい。

また、収穫作業と重なり中晩柑類の見直し摘果、収穫終了園の施肥と作業が立て込みますので、段取りをしっかりと立てて効率的に作業を行いましょう。

1、収穫と樹上選果

着果量と果実肥大のバラツキは果実品質の低下に直結します。本年は平年と比べ気温も高く乾燥が続いたため、全体的に日焼け果が多く発生していますので温州類は樹上選果時に日焼け果を除去し、中晩柑類に関しては見直し摘果を行い、残っている小玉果や内裾なり果を除去しましょう。

品種		重点作業
温州類	極早生	品質、体質を考慮し、着色基準を満たしたのから順次採収を行い、早めの出荷を心掛けましょう。
	早生温州	10月後半から収穫が始まります。樹上選果を行い、規格と品質の向上を図りましょう。
	中生・普通温州	10月は大玉果と日焼け果を摘果し、キズ・小玉の見直し摘果をしましょう。
中晩柑類	紅まどんな	・引き続き仕上げ摘果を行い、規格と品質の向上を図りましょう。 ・施設の天ビニール、雨よけ資材を10月上旬までに被覆しましょう。
	ボンカン・甘平・せとか・デコボン	見落としした内・スソの小玉果除去を徹底する。 【小玉摘果目安：10月1日】ボンカン：51mm、デコボン：63mm、せとか：61mm
	河内晩柑	10月も引き続き、外周部を中心に極小果や天なり果、縹果（房状になっている果実）を摘果しましょう。

2、秋肥の施用

樹勢回復、耐寒性の向上、冬季の落葉防止、翌年の着花及び新梢の充実のため必ず施用して下さい。

品種名	反当施用量（袋数）	施用時期	肥料銘柄(N-P-K)【何れかを使用】
極早生	120kg（6袋）	10月中旬	えひめ有機配合1号(10-7-7) 宇和ポニアミノ（秋肥）(10-8-8) 果樹有機入り配合1044(10-4-4)
早生温州	100kg（5袋）	10月下旬	

※ 中生・普通・晩生温州、中晩柑の秋肥は11月上旬施用。



3、病害虫防除

近年は腐敗果が多く発生しています。そのため、改めて収穫・選別の際の果実の取り扱いを丁寧にするよう心掛け、収穫前には必ず貯蔵病害の防除を徹底し、腐敗果を少しでも減らすよう努めましょう。そのほか9月に引き続き様々な病害虫が発生します。発生状況や園地の状態に注意し、病害虫が発生次第対応しましょう。

病害虫名		主な発生時期と防除適期	防除薬剤	希釈倍数
虫害	ミカンハダニ	発生：5月～11月 防除：8月～11月発生次第	スターマイトフロアブル	3,000倍
	カメムシ	発生：8月～10月 防除：8月～10月発生次第	スターフル顆粒水溶剤 又はアルバリオン顆粒水溶剤	2,000倍 2,000倍
	ハナアザミウマ	発生：9月～1月（着色期） 防除：9月～10月発生次第	スピノエースフロアブル 又は、ディアナWDG	6,000倍 10,000倍
	カネタタキ	発生：6月～10月 防除：8月～10月発生次第	テルスターフロアブル	3,000倍
病害	貯蔵病害	発生：貯蔵中（9月～5月） 防除：収穫の前日～10日前	ベンレート水和剤 又は、ベフラン液剤	4,000倍 2,000倍
	褐色腐敗病	発生：8月～11月 防除：発生次第	アリエッティ水和剤	400倍

※ 病害虫防除等の不明な点は、各地区駐在の果樹専門指導員又はみかん指導課へご相談下さい。

8月号の答え

1	ハ	6	ナ	9	ビ	14	ス	18	モ	21	ウ
		7	サ	ラ	11	ダ		19	ス	シ	
2	サ	ケ		12	イ	ブ	ク	ロ			
	ン		10	シ	モ	ン		ガ			
3	シ	8	ナ	モ	ン		20	ジ	ミ		
4	ヨ	カ		13	ジ	ド	リ				
5	ウ	マ	レ		17	ウ	キ	ワ			

たくさんのご応募ありがとうございます。8月号の答えは「モウショビ」でした。正解者の中から抽選で5名の方に、JA支所店舗などでお使いいただける1500円分の商品券をお贈りします。なお当選者の発表は、賞品の発送に代えさせていただきます。

※氏名にふりがなの記載をお願いします。

〒798-0031 JAえひめ南 総務課行き	宇和島市栄町港 三三三〇三
------------------------------	------------------

○月号の答え	○	○	○	○	○	○	○
郵便番号							
住所							
氏名(年齢)							
電話番号							
本誌に関する感想や意見 などをお聞かせください。							

メール eminami@ja-eminami.or.jp

【応募締切】 10月 31日

パズル？ 頭の体操

出題●ニコリ

二重マスの文字を
A～Eの順に並べて
できる言葉は何で
しょうか？

タテのカギ

- ① 本のこと。電子――
- ④ 釣った魚を入れておく籠
- ⑥ 今日の―― デイツシユはステーキです
- ⑦ 漢字では秋刀魚と書く青魚
- ⑧ ここからぼた餅が落ちてきたらラッキー？
- ⑩ 牛の頭に生えています
- ⑪ この下駄箱は―― だから動かさません
- ⑬ ドリルで開けるもの
- ⑭ 焼き肉を漬けたりかば焼きに塗ったり
- ⑯ うわさが広まるときに付きやすい
- ⑰ 10月10日は目の―― デーです
- ⑱ やぼではありません
- ⑳ 腰をひねるようにして踊るダンス

ヨコのカギ

- ① 匂いマツタケ、味――。おいしいきのこです
- ② 日が暮れてすぐの頃
- ③ 晴れた日にはかどりやすい家事
- ④ ――油を付けて日本髪を整えた
- ⑤ 世界遺産の一つ、―― 古道
- ⑨ 千葉県にある市。大きな国際空港があります
- ⑪ 運動会の競技の一つ
- ⑫ 配偶者のことです
- ⑬ 徳川家の家紋に使われている植物
- ⑮ 眠ったまま話します
- ⑰ ベンチもこれの一種

1		6				13	16	19
2					11			
3			8					
			9			14		20
		7			12		17	
4			10				18	
5						15		

A T M稼働時間の延長について

この度JAえひめ南では、お客様の利便性を高めるため、下記のA T Mにつきまして、稼働時間の延長を行います。

●対象A T M （5台）

宇和島市役所吉田支所・道の駅みま・Aコープ津島
宇和島市役所津島支所・愛南町役場御荘支所

●延長稼働日

令和2年10月1日（木）より

●稼働時間

平日 8：45～21：00
土日・祝祭日 9：00～21：00



皆様のご利用をお待ちしております。

～農協観光より大切なお知らせ～ 旅行代金のお支払い方法が変わります

平素より農協観光をご利用いただき誠にありがとうございます。
令和2年10月1日より旅行代金の口座引き落としが廃止となります。
つきましては指定口座へのお振込みまたはコンビニ決済にて旅行代金のお支払いをお願いいたします。
なおJAキャッシュカードにてお振込みの場合、手数料は不要です。
ご不便をおかけいたしますが何卒よろしくお願いいたします。

詳細については(株)農協観光愛媛支店まで問い合わせください。
電話：089-948-5381

本所（宇和島支所）、立間中央支所の宿直廃止について

令和2年11月1日（日）より本所（宇和島支所）、立間中央支所の宿直を廃止いたします。
尚、緊急時は下記まで連絡をお願いします。

【廃止日】

令和2年11月1日（日）



【緊急時連絡先】

ガス	0895-72-0126	葬儀	0120-105-969
事故	0120-258-931	レッカーロードサービス	0120-063-931

JAえひめ南ホームページ ギャラリー更新中！



JAえひめ南ホームページでは、
広報誌に掲載しきれなかった写真を
ギャラリーで更新しています。トップ
画面の「JAえひめ南のみんなを
もっと見る」をクリックすると、写
真を見ることができます。



理事会報告 令和2年度 第5回理事会

令和2年8月28日（金）

（協議事項）

- 第1号議案 コンプライアンス・マニュアルの一部改訂について
- 第2号議案 農産物検査業務規程の変更について
- 第3号議案 支所生活店舗の再編について

（報告事項）

- ① 令和2年7月末事業実績について
- ② 主要数値の報告及び財務向上プラン実績報告について
- ③ 令和2年度JAえひめ南労働力確保対策について
- ④ 令和2年度愛南町次世代ファーマーサポート事業の実施について
- ⑤ 令和2年度農協まつりについて
- ⑥ その他

（その他）

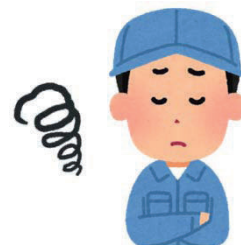
次回理事会開催予定
令和2年9月29日（火）午後1時30分から

収入保険は青色申告を行っている農業者が加入できます。

新型コロナウイルスに関する 収入保険のQ & A

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響で販売収入が減少した場合、収入保険の補償の対象になるの？

- 労働力を確保することができず、計画していた農産物の栽培を中止せざるを得なくなった
- 法人が従業員を休ませたことで、計画どおりの営農ができず収穫量が減少した
- 直売所の客数が減少し、売上げが下がった
- 学校給食やイベントが中止になるなどにより、計画どおりの出荷ができなくなった
- など



A. 補償の対象です！

収入保険は、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響によって、販売収入が減少した場合も、補償の対象です。

詳しいことは、農業共済組合までお問い合わせください。

宇和島支所 TEL 0895-49-5550
南宇和出張所 TEL 0895-72-0201



読者から ひとこと

三間町でツルムラサキを栽培している農家さんの笑顔が素敵ですね。袋にレシビが載っているのもいいですね。ツルムラサキの栄養価に興味を持ちました。豚肉の炒め物も美味しそうで、購入していただきたいと思います。

(津島町 M・Tさん 68歳)

ツルムラサキの炒め物は三間町支所の生活指導員さんに作っていただきました♡とっても美味しかったので、ぜひ試してみてください😊

特集でツルムラサキを初めて知りました。夏野菜として、サラダやおひたし、麵のトッピングなど、色々試してみたいです。
三間町の若い農家さんが多く活躍されていてすごいですね。みなさん、笑顔がとても素敵です。

(鬼北町 T・Nさん 64歳)

ツルムラサキのこと、地域で頑張っている農家さんのこと、広報誌を通して知っていただけで嬉しいです♡

年金友の会の総会中止、残念です。総会終了後のアトラクション、とても楽しかったです。またみんなで集まって総会が開催できることを待ち望んでいます。
(吉田町 T・Kさん 78歳)

毎年恒例の年金友の会総会後のアトラクションは、会員さんたちが楽しみにしている大イベントですよ。来年は開催できますように。

今年はコロナウイルスが色々な方面に影響を与えていますね。二名小学校5年生児童のみなさんのバケツ稲作り、素晴らしいアイデアだと思います♡
(鬼北町 Y・Kさん 63歳)
良いアイデアですよ♡稲、順調に生育しているかな〜♪

愛南町の池田牧場での食農体験教室は最高ですね。子どもたちも忘れられない体験になったことでしょう。一成さん、これからも頑張ってください。

(愛南町 T・Oさん 77歳)

池田牧場の食農体験教室はいつも、子どもたちの年齢に合わせた充実した内容です♡小学生の楽しそうな笑顔が印象的でした☆

おたより募集中!

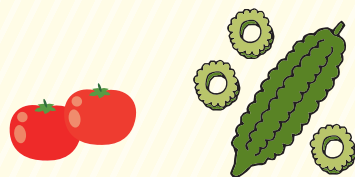


本誌の感想をはじめ、皆さんの身のまわりで起きた小さなニュースをお送りください。掲載させて頂いた方にはもちろん、お近くの支所店舗でお使い頂ける500円分の商品券をお贈りします。(お送りいただいた内容は主旨を変更しない範囲で語句を修正させていただきます)

今月の朝ごはん

材料 (2人分)

ツナ缶	2缶
ゴーヤー	1/2本
レモン	1/4個
トマト	1個
ナンブラー	大さじ1
シュンギク、トレビス(赤チコリ)...適宜	
塩	適宜



作り方

- ① ゴーヤーは半分に切って種を取り、薄切りにして塩を振って5分ほど置き、熱湯でサッとゆで、冷水に落とし水気を切っておく。
- ② ツナ缶はざるにあげ、油を切っておく(軽く絞ったような状態)。
- ③ ボウルに①と②、ナンブラーを入れ混ぜ合わせ、皿に盛る。食べやすい大きさに切ったシュンギク、トレビス、トマトを盛り付け、レモンを搾って出来上がり。

ツナとゴーヤーのサラダ



今月の表紙



今月の表紙は、三間町の農事組合法人波岡集落営農組合のみなさんです☆農家約30人が9月でコシヒカリを手掛け、8月15日から収穫作業に励んでいます!

えんぴつ

JAえひめ南の公式インスタグラム、みなさんフォローお願いします♡管内の農産物の魅力をたっぷり発信しますよ♡
(藤田)



永井智一
(ながい・ともかず)

茨城県笠間市にある
「天晴(旧キッチン晴人)」
オーナーシェフ

野菜ソムリエ上級プロ

KAORUの

ベジタブル ライフ

イラスト：小林裕美子

マッシュルーム

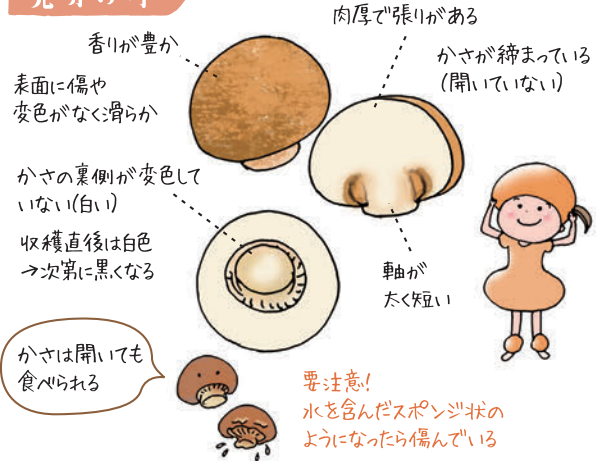
～世界中で愛されるきのこ～

マッシュルームのプロフィール

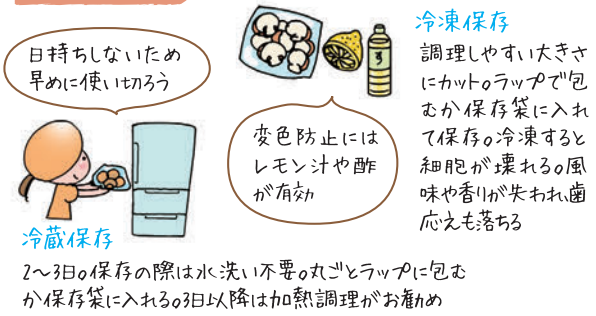
- 【分類】ハラタケ科ハラタケ属
- 【原産地】欧州
- 【おいしい時期(旬)】秋(10～12月ころ)
- 【主な栄養成分】カリウム、食物繊維、
ビタミンB2、パントテン酸、ナイアシンなど

解説：KAORU

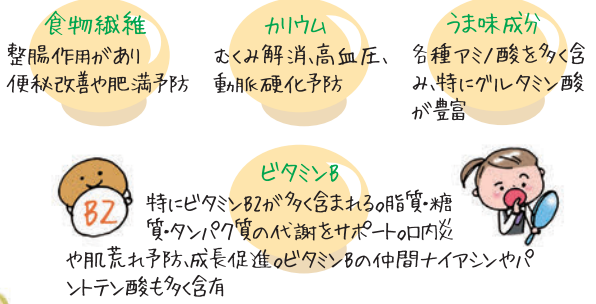
見分け方



保存方法



マッシュルームのチカラ



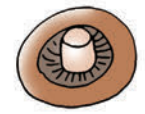
マッシュルームのいろいろ

ホワイト種 (ホワイトマッシュルーム)

日本の定番種の全体が白く小型のかさの表面が滑らかで、見た目にも上品のグラウン種より日持ちはしないが、癖がなく淡白な味わい

グラウン種 (グラウンマッシュルーム)

かさは茶色で、軸は白色の小型のホワイト種に比べてやや日持ちする。原種に近いため、本来の濃厚な味わいと香りの良さが特長



ジャンボマッシュルーム

品種ではなく栽培過程で優秀な物をえりすぐり、大きく育てた大型の物の直径10cm、重さ100g以上に達するものそのままステーキや肉詰めにもカットして小型のマッシュルームのようにも利用できる

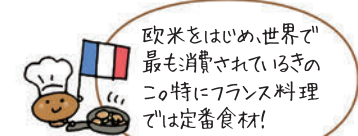
楽しみ方・食べ方のコツ

生食：サラダ、マリネ 加熱調理：炒め物、揚げ物、スープ



マッシュルームのビミツ

世界で愛されるきのこ



歴史

1650年ころからフランスで人工栽培されていた。明治時代に伝来。大正時代には栽培が本格化

栽培

施設で通年栽培。クリスマスのイベント期に多く出荷される。培地作りから約2か月間で収穫